



問診で医師からの質問に答える劉さん(左)

医療観光での誘客に期待

■榎原総合病院での医療観光の受け入れ

中国からの観光客が4月16日、市を訪れ、榎原総合病院で人間ドックを受診しました。昨年度から市が進めている中国との交流が広がり、上海市の旅行会社が医療観光(メディカルツーリズム)として、試験的に実施したものの。受診したのは無錫市から来た劉さんで、セットドックと各種オプション検査を受けました。今後、「健康」をキーワードに、人間ドックと温泉など県内の観光地を組み合わせ、新たな訪日旅行の企画により、市への観光誘客に大いに期待がかかります。

看護の道へ決意を新たに

■静岡県中部看護専門学校入学式

本市と藤枝市、焼津市、吉田町が運営する県中部看護専門学校の入学式は4月9日、同校講堂で行われました。

原宏介校長は「初心を忘れず、思いやりの心と強い精神力を養ってください」と激励。

今年度の入学者は44人で、本市からは村瀬恵未さん(落居)が入学。「人の役に立てる看護師になって、地域に恩返しができるようになりたい」と抱負を語ってくれました。生徒は3年間、看護の理念や技術を学びます。



新入学生代表で花束を受け取る村瀬さん

砂煙を上げて競走馬が疾走

■第37回さがら草競馬大会

国内唯一の砂浜を周回する競馬大会「第37回さがら草競馬大会」が4月28日、さがらサンビーチで開催されました。

出走した競走馬は、中央競馬や地方競馬で活躍したサラブレッドを含む51頭。ゴール後に馬が砂浜を逃走する騒ぎがありましたが、集まった約3万人の観客は、目の前で繰り広げられる競走馬の力強い走りや迫力あるレースを堪能していました。この他、子どもによる人間草競馬やポニー体験乗馬などが行われ、会場は大いににぎわいました。



目の前でサラブレッドが疾走する姿は迫力満点



地元と市の共催で開かれた感謝式典

水門と地域のかで防災力を向上

■勝間田川水門感謝式典

静波区と川崎区、市の共催による勝間田川水門感謝式典が4月20日、同所で開かれました。

水門は、県が平成8年度から地震・高潮対策として整備を開始。水門には、高さ約5m、幅25mの鋼鉄製ゲートが3門設置され、通常は約20分で閉鎖し地震計が震度5弱以上を感知した場合は約2分以内に自動降下します。池田司静波区長が「地域の安心安全が守られることに感謝します」とあいさつ。来年度以降、県島田土木事務所と連携して遠隔操作できるように整備を進めています。



歌とダンスを披露するnozomiガール「NEed」(左から、Mizuki、Leo、Shiori)

「望」を歌とダンスで発信

■nozomiガール「NEed」結成発表会

J Aハイナンのブランド茶「望」を宣伝するために誕生した、女性ボーカルグループ「nozomiガール NEed」の結成発表会が4月11日、静岡市のブケ東海で行われ、イメージソング「ibuki」やダンスを披露しました。

J Aハイナン合併20周年を記念して結成された同グループ。昨年、県内在住の19歳から30歳までの女性を対象にメンバーを公募し応募数154人の中から3人(Shiori、Leo、Mizuki)が選出され、同世代の若者を中心にPRするため、歌やダンスの練習を重ねてきました。

3人は、「お茶といたら望とイメージされるように、全力で望の魅力を発信していきたい」と意気込みを語ってくれました。

郷土愛豊かな消防団員に

■平成25年度市消防団辞令交付式

市消防団辞令交付式が4月7日、静波体育館で行われ、新たに71人の新入団員が入団しました。

新入団員を代表して、第6分団の杉村潤さんが鈴木雅志団長から辞令を受けました。西原市長は「日ごろの訓練に努め、市民の生命財産を守ることに誇りを持つように」と団員に訓示し、鈴木団長は、「郷土愛豊かな消防団員になってもらいたい」と新入団員を激励。式後、新入団員は幹部団員から、消防団員としての心構えを学び、「気を付け」「敬礼」などの規律訓練を受けました。



幹部団員から敬礼の仕方など規律訓練を受ける新入団員



榎原総踊りによる「榎原よさこいソーラン」の披露

市の文化活動の拠点として

■榎原文化センターリニューアル記念式典

榎原文化センター会館棟リニューアル記念式典が4月2日、同所で行われ関係者が出席しました。

榎原文化センターは耐震基準を満たしていないため、ホール棟を平成24年3月に閉館。会館棟は耐震補強や設備改修を行い、補強用の鉄骨柱やエレベーター、屋上への避難階段の設置などがなされ、安全で使いやすい施設に生まれ変わりました。

式では、西原市長が「文化活動の拠点として多くの市民に使ってほしい」とあいさつ。市文化協会の会員が踊りを披露し、リニューアルを祝いました。

広報担当がどこにも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

